

様式8 自己点検評価報告書

①	基準 I-1	教育理念・目標・方針
----------	---------------	-------------------

◆評価基準

- ① 教育理念が明文化され、公表されている
- ② 教育目標が明文化され、公表されている
- ③ 学科・専攻ごとの教育方針が明文化され、公表されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学校の教育理念と教育方針は、HP やパンフレット、学生便覧に明記されている。教育目標
については、学生便覧に「本校の目的」として記載し、公表している。また、学科ごとの
教育方針は、HP 上に明文化し公表している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

教育理念・目標・方針の公表について、各媒体で統一した形で公表するよう改善する。

②	基準Ⅱ-1	教員の要件
----------	--------------	--------------

◆評価基準

- ① 指定規則に定める基準が遵守されている
- ② 専任教員は全員が協会員（JPTA・JAOT・JAS）である
- ③ 専任教員は全員が必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ② 基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

専任教員は6名在籍し、全員指定規則の基準を満たし、日本理学療法士協会員である。
これまで本学科の教員は、入職5年目までには、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の受講するよう計画的に進めてきた。現在は、教員の入退職もあり、現在の講習会修了者は3名である。

◆自己点検評価結果における課題と対応

本校3学科の専任教員全員が、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の受講ができるよう、毎年1～2名ずつ計画的に参加している。
専任教員1名が協会費未払いのため、一旦除名扱いとなっていたことが分かり、再入会したが協会番号は手続き中である。

③	基準Ⅱ-2	学科・専攻の長
----------	--------------	----------------

◆評価基準

- ① 学士またはそれに準ずる学識経験と教育経験を有する者である
- ② 修士以上の学位を有し、必要な教育・研修修了者である
- ③ 修士以上の学位を有し、10年以上の教育経験と必要な教育・研修修了者である

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

学科の長は、H22年に徳島大学大学院医科学教育部 臨床神経科学分野 修士課程を修了し、H23年に理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会を受講している。
また、専門学校専任教員として12年以上の経験を有している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

教育分野における認定・専門理学療法士の取得を目指す。

4	基準Ⅱ-3	教員と教科目
----------	--------------	---------------

◆評価基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 担当科目には、必要な教育・研修を修了した専任教員が適正配置されている
- ③ 指定規則の定数を超える専任教員が配置されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

専任教員は、担当科目や教育に関する新しい知見を積極的に学ぶため、教育研究大会や研修会、
に参加し教育に活かす努力をしている。修士以上の学位取得者は2名である。
専任教員は6名であるが、法人内から3名の経験豊富な理学療法士が臨床教員として1日/週
の頻度で教育に携わっている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

担当科目について、常に新しい知見を学ぶとともに、臨床での経験を継続して行う。また、
認定・専門理学療法士の取得も目指してもらおう。専門基礎分野を教える者にあたっては、十分
な経歴のある講師のティーチングアシスタントなどによる教育経験を重ねるよう努力する。

⑤	基準Ⅱ-4	教育環境の整備
----------	--------------	----------------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 教育上必要な機械器具教材が適時、整備・更新されている
- ③ 最新の設備や機器等が適切に整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

標準的な機械器具は整備している。これらの点検は定期的に行っており、必要に応じて使用
できている。機械器具については、順次入れ替えながら最新機器も整備している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

授業に必要なと思われる最新機器器具については、毎年の予算の中で検討し、順次整備する
予定である。

⑥	基準Ⅱ-5	教員のための設備
----------	--------------	-----------------

◆評価基準

- ①ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ②教員室（研究室）および個別指導の場が確保されている
- ③教員の教育内容に対応した実習・研究機材が整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

必要な設備は整っており、個別指導も頻回に行えている。教育に必要な機材も毎年見直ししながら、随時更新している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

実習・研究機材においては、毎年の予算の中で検討し、順次整備する予定である。

⑦	基準Ⅱ-6	教育のための予算
----------	--------------	-----------------

◆評価基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 教育上必要な機械器具や図書購入予算が明示され、計画的に執行されている
- ③ 教員および学生の研修計画（予算）と支援体制が整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育用の機械器具は、年間予算の中で優先順位の高いものから計画的に購入している。
図書購入費用は、毎年一定額の中で、学生や教員からの希望書籍を予算内で購入している。
教員の研修計画は、年間計画を立て行えている。
学生への支援体制として、独自の奨学金制度等を設けて計画的に行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

平等かつ公平な予算計画と執行を目指して努力している。

⑧	基準Ⅱ-7	教員の質向上
----------	--------------	---------------

◆評価基準

- ① 教育・研究・研修規程、ハラスメント対策が整備され、公表されている
- ② 授業評価およびFD・SDが実施され、結果が公表されている
- ③ 教育の質向上に向けた研修・研究への積極的な取り組みが見られる

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ② 基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

教育や研修、ハラスメント対策に関する規程は整備され一部を公表している。
授業評価、FDを実施しているが、公表されていない。
教育の質向上に向け、学科長による授業評価、学科間の意見交換、研修等の伝達講習会を定期的に行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

教育や学生支援について公表が不十分である。今後、教員の質向上に向けた取り組みに加え、情報の公表までのシステムの見直しが必要である。

⑨	基準Ⅲ-1	教育課程の内容
----------	--------------	----------------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 定期的に関カリキュラムの検討・見直しが行われている
- ③ 特色ある教育プログラムを有している

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則に基づいたカリキュラムであり、昨年度にも見直しが行われている。
法人内の医療施設から、定期的に臨床で働く理学療法士が授業に参加し、臨床教育の充実を図っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

経営母体が医療法人であることを活かし、臨床教育の充実を図ることを特色としているが、
指導者が多くなれば、教育の一貫性が行いにくくなる。そのため、学校教育と臨床教育の
より充実した連携が必要となる。

⑩	基準Ⅲ-2	全体的配分
---	-------	-------

◆評価基準

- ① 指定規則で定める基準が遵守されている
- ② 講義概要・学生便覧が整備され、周知されている
- ③ カリキュラムツリーやマップ等を配し、分かり易く整備されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則に基づいた基準であり、講義概要・学生便覧は学生に周知している。
3年間で取得する科目や大まかな時間割り、カリキュラムツリー、3年間の学校生活についてはパンフレットで提示している。また、本校では一部の既習得を認める学生以外は、すべての科目を履修することになるので学校が提示した時間割に沿って授業や実習を進めている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

本校の教育目標との関係性の提示が不十分である。教育の一貫性と教員間の更なる連携が必要である。

①	基準Ⅲ-3	入学者選考基準
---	-------	---------

◆評価基準

- ① ガイドライン等に基づき、適正に行われている
- ② 入学者の公正な選抜実施と入学定員が遵守されている
- ③ 入学者選抜要項が整備され、公表されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

入学者の選抜は学生募集要項に基づき、公正に行われている。面接や小論文は、採点基準に基づき点数化し、3名以上で客観的かつ公正に判断している。

◆自己点検評価結果における課題と対応

AO入試において、アドミッション・ポリシーと照らし合わせて審査を行うためには、本校が重視するポイントについて、十分な情報が得られるような課題の提示を検討する必要がある。

12	基準Ⅲ-4	教育方法
----	-------	------

◆評価基準

- ① 講義概要・学生便覧を遵守した教育が行われている
- ② 講義、演習、実習が効果的に組み合わせられている
- ③ 特色ある教育方法を取り入れている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

講義概要・学生便覧を概ね遵守し教育を行っているが、講師の都合により、一部講義の内容が変更されることがある。1年前期から基礎的な解剖の知識を、暗記だけではなく想起できるようトレーニングを行っている。実技や演習には多くの時間を使い、普段臨床で働いている理学療法士が直接指導している。学生の主体的な問題解決能力を育成するため、課題解決型学習（PBL）を多く取り入れている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

臨床現場から多くの理学療法士が教育に関わってもらうため、教育の平等性や公平性が担保されるよう注意が必要である。

10	基準Ⅲ-5	学生の成績評価
----	-------	---------

◆評価基準

- ① 評価基準、方法を明記した文書がある
- ② 全体的能力を評価する基準を設けている
- ③ 進級・卒業要件に基づき、適正に行われている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ② 基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

成績評価の基準は学生便覧で公表されている。全体的能力として課題解決型学習を取り入れているが、個別評価は行えていない。進級・卒業判定は基準に基づき公正で判断している。
進級・卒業要件では判断しきれない場合において、学科会議で協議し決定することがある。

◆自己点検評価結果における課題と対応

全体能力を個別に評価する基準が必要である。進級・卒業判定において例外措置が必要な場合も、明文化しておく必要がある。

①	基準Ⅲ-6	臨床教育の内容
---	-------	---------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等に基づき、適正に行われている
- ② 客観的臨床能力試験（OSCE）が導入され、評価・単位認定を行っている
- ③ 先進的な教育プログラムを取り入れている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

客観的臨床能力試験（OSCE）は一部で導入し、評価と単位認定を行っている。
地域の老人大学の学生を対象に、転倒予防のための身体測定を行っている。
地元の高校と協力し、高校生のメディカルチェックを行っている。
学習した知識を応用的に使えるよう課題解決型学習を多く取り入れている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

本校の臨床教育について、本年度の実習指導者会議でクリニカル・クラークシップへの移行の意志表示をした。臨床実習の評価と単位認定においても、臨床実習前後の客観的臨床能力試験と学内における報告を加味し学校が責任をもって判定するための判定基準や方法の検討と準備を行っている。

15	基準Ⅲ-7	臨床実習の単位数、期間
----	-------	-------------

◆評価基準

- ① 指定規則で定める基準が遵守されている
- ② 臨床実習が効果的に配置（実施）されている
- ③ 新たな臨床実習への取り組みが見られる

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- ③：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

指定規則に定められた時間数以上の臨床実習を行っている。カリキュラムに合わせて適切な時期に実習を計画・実施している。現在、クリニカル・クラークシップで実施しているのは、1割程度である。本年度の臨床実習指導者会議において、本校における実習形態をクリニカル・クラークシップへ移行する趣旨を説明し協力を促した。

◆自己点検評価結果における課題と対応

クリニカル・クラークシップの本格的導入に向け、教員や実習指導者の知識向上と意識改革が必要である。そのためには、養成校が積極的に情報提供を行い進めていく。また、臨床実習指導者の質改善に寄与できる研修会等を計画していく。

16	基準Ⅲ-8	臨床実習施設との連携
----	-------	------------

◆評価基準

- ① 臨床実習指導者会議を開催し、議事録を保管している
- ② 臨床実習に際し、実習前後を含め密な連携を取っている
- ③ 臨床実習に専任教員が随時参加し、指導している

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

<p>年1回の臨床実習指導者会議を開催しており、不参加施設には議事録を郵送している。各施設とは臨床実習責任者または臨床実習指導者を介して、実習期間中いつでも連絡がとれる体制を整えている。臨床実習中は1回以上の訪問を行い、臨床実習指導者と直接情報交換を行うとともに、学生の現状把握や指導も行う。実習中に専任教員がすべての学生の実習に随時参加は困難であるが、学生の状態に合わせ、指導者と連携をとりながら教員の関わり方を調整している。</p>

◆自己点検評価結果における課題と対応

<p>実習開始後、学生に問題がなければ学生指導を実習指導者に概ね任せてしまっている。全ての実習において、実習指導者または学生本人と連絡を取り、問題発生の予防にも努める。</p>

⑩	基準Ⅲ-9	臨床実習施設に関する事項
---	-------	--------------

◆評価基準

- ① 指定規則、ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 各障害・病期・年齢層を偏りなく経験できる実習施設が確保されている
- ③ 協会認定、または「病院機能評価」等の施設が半数以上確保されている

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

各障害・病期・年齢層を経験できる実習施設が概ね確保されている。臨床実習施設の中で
医療施設において「病院機能評価」の認定を受けた施設は約 1/3 程度である。

◆自己点検評価結果における課題と対応

脳血管障害と高齢者の骨折の症例が多く、学生全員が偏りなく経験できることは難しい。
しかし、基礎的な症例は経験できるよう、その臨床施設でどのような症例を学べたかを次の
実習施設に報告し、症例の偏りが少なくなるようお願いしている。

18	基準Ⅲ-10	臨床実習指導者
----	--------	---------

◆評価基準

- ① ガイドライン等で定める基準が遵守されている
- ② 指導者は全員が5年以上の臨床業務従事者である
- ③ 必要な教育・研修修了者が全実習指導者の20%以上を占める

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- 2：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

臨床実習の評定責任者は概ね5年以上の臨床業従事者であるが、症例のみを担当する指導者として、3年以上の指導者も含まれている。現在、全実習指導者の研修等の修了者は5%も満たない状態である。

◆自己点検評価結果における課題と対応

指定規則の変更に伴う、臨床実習指導者の資格の変更は、本年度の臨床実習指導者会議で説明しており、今後の研修参加のお願いをしている。

19	基準IV-1	教育成果
----	--------	------

◆評価基準

- ① 教育成果向上のための取り組みがなされている
- ② 学業達成率が 80%以上である
- ③ 新卒者の国家試験合格率が全国平均以上である（過去 3 年間の平均値）

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない
- ②：基準を概ね満たしている
- 3：基準を全て満たしている

◆自己点検評価結果の理由

個別相談を計画的に実施し、問題の早期把握に努めている。臨床実習での学習が困難な学生に対しては、法人内のより連携がとれた施設で専任教員とともに指導を行っている。
現在の本校 3 年生は 84.4%がストレートに進級できている。国家試験合格率は過去 3 年では平均を下回っている。これは、H27 年は一時的に大きく下げた年であり、この年を外せば 5～6 年はすべて上回っている。また、H26 年度と H29 年度の卒業生は専門実践教育訓練の指定基準を満たした。

◆自己点検評価結果における課題と対応

学生個々の学力把握に努め、必要な対策授業を計画的に行っていく。特別な対応が必要な学生には、教員間での情報共有を充実させ、一貫した対応ができるよう取り組む。

④	基準V-1	社会貢献
---	-------	------

◆評価基準

- a. 自治体事業への協力
- b. 地域住民への貢献
- c. 学生ボランティアへの支援
- d. 士会・協会活動への協力

◆自己点検評価（該当数字を○で囲む）

- 1：基準を満たしていない→a+b+c+d（0～5件）
- 2：基準を概ね満たしている→a+b+c+d（6～15件）
- ③：基準を全て満たしている→a+b+c+d（16件以上）

◆自己点検評価結果の理由

近隣と自治体からは、委員等の委嘱を受け教員が活動協力をしている。
地域住民へは、交流会や公開講座、ボランティアなどで貢献している。
学生に対するボランティア活動はその都度呼びかけをし、積極的な参加を促している。
教員が県士会ブロック運営員を務めており、活動への参加は積極的に行っている。

◆自己点検評価結果における課題と対応

多くの学生または全教職員が、これらの社会貢献に参加できるよう教員全員が情報を共有し、学生への情報提供の充実を図りたいと考える。